



HSMニュース

WOMEN'S DAYに参加してみた！

今回、昨年に続き在神戸パナマ総領事館・セグマル今治事務所主催で「WOMEN'S DAY」が開催されたので、当社からも女性スタッフが1名参加いたしました。

ご存知の方も居るかと思いますが、1975年に国連が3月8日を「国際女性デー」と制定し、日本においても、女性の生き方を考える日として全国に拡大しております。そしてこの度、その3月8日に先駆けて、3月6日に今治国際ホテルでこの女性の集いが開かれました。



出席した当社のスタッフは今回が初参加でしたが、業界で活躍されている多くの女性の苦勞を伺い、また、様々な情報交換をすることで今後の仕事に対して前向きになるような良い刺激を受けたようです。

国際女性デーの象徴として知られている花「ミモザ」の花言葉には「感謝」という意味も含まれているとの事ですが、日頃うまく伝えることができていないあの方にミモザを送ってみてはいかがでしょうか？


 RitCHの追加機能として「PMS」がリリースされました！

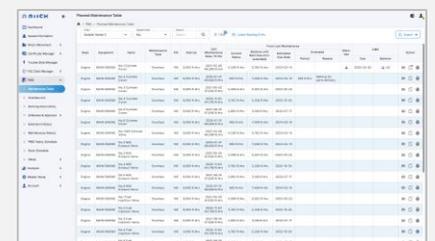
当社関連会社である(株)HSM (<https://www.hsmjp.co.jp/>) が開発を行い、Webサービスの提供をしているクラウド型船舶管理システム「RitCH(リッチ)」におきまして、この度、追加機能として新たに待望のPlanned Maintenance System(PMS)がリリースされました。👏

本機能により、船舶の定期メンテナンス計画を管理し、作業の実施状況を一元的に把握できます。

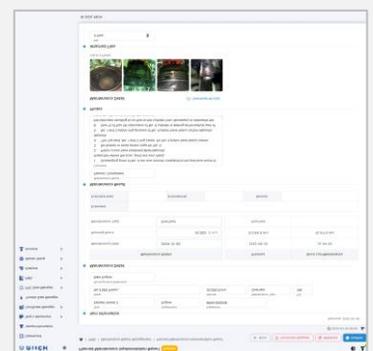
設定したインターバルに基づいて次回のメンテナンス予定が自動更新される他、期日が近づくとアラート表示されたり、アラートメールが自動送信されるなどして、実施漏れやチェック漏れが防止されます。

また、インターネットへの接続が必要ですが、本船にアクセス権限を付与することで、船陸間でメンテナンス状況をリアルタイムに共有ができ、報告や申請、確認や承認等の業務プロセスもこの機能内で実施する事が可能になります。

そして、この機能は「RitCH」の追加機能として手軽に導入でき、非常に安価に利用できるのので、業務の効率化・システム化に活用出来ます！



基本画面(メンテナンス状況一覧)



メンテナンスレポート作成画面



このコーナーでは散歩の似合わない男「桑村」がその重い腰ならぬ重い体を上げ、日生やその周辺を散歩！魅力的なスポット・お店などを紹介していきます。

皆さんが日生方面へ出張される際の合間にちょっと寄り道したり、休日にふらっと出かける参考にして頂けるような場所をご案内していきたいと思います！

くわ散歩 第11回:となりのトロの世界観で味わう絶品料理！赤穂市「五月(メイ)」

皆さんこんにちは！くわ散歩では、弊社周辺や近隣等のまだ知られていない穴場やオススメのお店など、様々なスポットを紹介いたします。

今回は、赤穂市内では何度も訪れている、オシャレな雰囲気と美味しい食事の楽しめるお店にお邪魔しました。

この日も散歩と言いながら数百歩でお店に到着でしたが、汗をかいて入店しておりました・・・



今回は日生の隣町、兵庫県赤穂市にある「五月」(と書いてメイと読みます)というお店です。(住所:兵庫県赤穂市加里屋40-6)。

JR播州赤穂駅からは350m、徒歩で5分程度と好立地。お店に近づくと、まるで「となりのトトロ」の世界観のような、まるでジブリ映画に登場しそうな温かみのあるお店が現れます。



ドアノブがスコップなんです



店内に入ると、入口はドアノブがスコップだったり、通路に農具やほうきが飾ってあるなど、とてもユニークな感じます。

その奥には、落ち着いた雰囲気の客席があり、4人掛けのテーブル席が3卓と6人掛けが1卓ととても使いやすいお店です(ちなみにカウンター席もあるようですが、夜の営業時間で使っているか不明です)。



まるでテーマパークにいるかのような店内で、デートにもいいかもしれません(この日はおじさん3人での利用でした)



まず驚かされるのが、お通しの美味しさ！一品一品手が込んでおり、さらにこの日は牡蠣まで付いてくるという贅沢さ(あまりの興奮で、写真を撮る前にビールを飲んでしまいました)。

私は普段夜に訪れていますが、実はランチも評判の人気店。次はぜひお昼にも訪れてみたいです。



沢山の小鉢で嬉しいランチメニュー「メイの木箱ランチ」
※ 星はまだ訪問したことがないので、写真はお店のInstagramからお借りしました



実はこのお店、馬刺しが絶品なんです！

本場・熊本から仕入れているという新鮮な馬刺しは、まさに極上の一品。この日いただいたものも、しっとりとなめらかな食感と、赤身の濃厚な旨みが口いっぱい広がる至福の味わいでした。さらに、特選三種盛りでは異なる部位の食べ比べも楽しめ、それぞれの個性が際立つ美味しさです。



エビマヨを食べたのに「地エビの唐揚げ」も食べました。シンプルですが、エビの旨味が最高でした



みなさん、エビマヨはお好きですか？美味しいですよね。でも、このお店のエビマヨは格別。衣はフワっとし、プリプリのエビに特製ソースが絡んで最高のバランスです。実はこの訪問の後日、デパ地下の某有名なエビマヨを食べたのですが…個人的にはこちらの方が好みでした。エビの旨みがしっかり感じられ、ソースとの相性も抜群。エビ好きならぜひ一度試してみてください！



締めは「ミートボールスパゲッティ」。最後に意外なパンチのある一品ですが、美味しいので結局食べちゃうんです・・・

雰囲気重視のお店かと思いきや、一品一品が丁寧で食材にもこだわりが感じられる、満足度の高いお店です。店名の看板には「赤穂野菜と地魚の店 五月」とありますが、お肉料理も絶品！何度訪れても飽きないので、みなさんも是非足を運んでみてください。

私は、そろそろランチタイムに訪れて、もっと野菜の魅力を堪能したいと思います！

それでは、次回の「くわ散歩」でまたお会いしましょう！

オフショット(?)を見たらこのイラストと同じ写真が撮られていてビックリ...





ピックアップ!

ここでは、私共が目にして気になった記事やニュース等を紹介させていただきます。
海運に関する事や海運に関係なくても興味がわく様な内容の物を色々紹介していきたいと思います!

こんにちは！今回は、久しぶりにあるコンサルタントとの方の記事をピックアップしてみました。
今回の記事も、経営の原点や仕事の原点等、本質を問う様な内容で、少々耳の痛い内容になっております。
皆さまはどの様に感じるでしょうか???

「どこまでいっても信用がやっぱり一番大事ですね。」

■ 決してぶれてはいけないもの

長い間、商売・ビジネスをしていると、良いときもあれば悪いときもあることでしょう。

約60年ほどの時代の流れでも、高度成長期、バブル、バブル崩壊、リーマンショック、コロナ禍、というように活気ある時期から低迷期というように良いときもあれば悪いときもあります。

特に昨今は「失われた30年」なんて風にもたとえられてきました。

こういう時期・状況の変化に応じて商売、ビジネスを続けていく工夫は大切なことですし、また、そのように取り組んでおられるからこそ現在もお、経営が出来ている方が大半でしょうが、必要以上に新たなビジネスに手を出したり、背に腹は代えられないということで自社の軸をぶらし、信念を曲げてしまうという経営者もいます。

これは実際に目の当たりにした話ですが、とある会社で1つの事業が上手く行き、誰からともなく「今度はこんなことしましょうよ。」なんて儲け話的な誘いを受け、

「今度もきっと上手く行く。」

なんてことで、自社の信念を曲げ、簡単にその話に乗っかり、失敗をして、完全に市場・顧客からの信用を失くしてしまった会社があります。

悪いときもそうですが、状況が良いときほど、「今ならイケル」みたいな錯覚から落とし穴にはまってしまうようです。

1つの商売が当たると、もうそれだけで何もかも手に入れたように勘違いして傲慢になり、お客様や取引先への対応もおざなりになったり、大金を注ぎ込んで勢いだけで新規事業に乗り出したりとイケイケ状態に。

こうなると周りが見えなくなり、気がついた時にはえらいことに・・・

あるいは、商売がうまくまわらなくなってきたので、自社の信念を曲げて、なんでもあり的な営業をしてしまったり、儲かる話に飛びついて、わけのわからないビジネスにのめり込んでいく。

いずれのケースもやがて信用は必ず失墜します。

でも、新たな分野でまた信用を勝ち取れるのでは？

なんて思うかもしれませんが、そうした人は、短期的な期間でコロコロと手を変え品を変えているだけのことで軸も信念もないままなので、やはり、信用は失墜してしまいます。

逆に信用のおける会社、あるいは人というのは、良い時期であろうが悪い時期であろうが、自社、自身の信念を曲げず、軸をしっかりもっている会社であり、人なのです。

たとえ今は世間に知られていなくても、社会的に評価されていなくても、

「これだけは！」

ということを淡々とやり続けている。

あるいは、1つの商売が当たっても決して奢らず、その商売の軸を大切に守って展開していく。

こういう会社、人というのは、一時の時流や環境に流されることなく、信念をもっているので信用されるのです。

信用されるから顧客、市場を含め支持され応援もされるのです。

たとえば、極端な話、倒産寸前の状況に追い込まれた時に死ぬ気で改善策を講じ献策をたて実行するか？
それとも信念を曲げてわけのわからない新たなビジネスに乗り出すか？
あるいは、商売が1つ当たって、その商売の軸を守って展開するか？
それとも調子に乗って、多角経営とかなんとかいって勢いだけでわけのわからないビジネスに手を出すか？
こうした局面で、その会社、人の信用が決まります。

信念を曲げ、軸をぶらす人や会社というのは、状況が悪いときには、あっさりその場から逃げ、状況が良いときには、勢い任せで動きます。

ですので、信用を得るには、良いときであろうが悪いときであろうが、自社、自分の信念を持ち、軸をぶらさず商売、ビジネスを続けていくことがとても大切なことなのです。
軸をぶらすことなく対応し続けることが大切なのです。

たとえ倒産寸前の状況で信念を曲げ、軸をぶらしてV字回復したとしても、それで信頼を回復することはできません。
良いときも悪いときも信念を曲げることなく、軸をぶらさないこと、それが長く経営し続けられる信用の源なのです。
そして、そのブレない軸を言語化しているのが、経営理念であり、企業理念です。
ぜひ、大切にしてください。

■ 今日のまとめ

『信念を曲げ、軸がぶれると信用を失くす。』

ということで、今回の記事はいかがでしたでしょうか？

信念を曲げず、軸をぶらさない！
簡単なことのようにですが、守り通すのも意外と難しかったりするものですよ。

ついつい状況に流されてしまう、といったこともあるでしょう。
うまくいっているときには、浮かれてしまい、本来の目的や趣旨を見失ってしまうこともあるように思います。
本来目指したものと違うものに手を出してしまう、また、下手に色々と手を出し過ぎてしまう、なんてことにより、結局本来の目的・目標を見失い、本業にも影響を及ぼしてしまった、なんていう本末転倒なことになってしまうこともあるかもしれません...
こんなことにならないためにも、そして何より、信用くださっているお客様のためにも信念は曲げず、軸がぶれない経営を続けていきたいですね。

今回の記事を読んで、私自身改めて気を引き締め直して、軸をぶらさずにしっかりと信念を持ってやっ払いこうと心に誓いました。きっと... おそらく... たぶん...

皆さんはどの様に感じましたか???

今さら聞けない

海運基礎知識 「乗組員特別作業手当について」

今回は、「乗組員特別作業手当」について取り上げてみたいと思います。
オペレーターや管理会社の方においては日常業務で取り扱うことも多いと思いますが、そうでない方々からすると実際にどのような内容かご存知ない方も多いかと思いますが、概要を簡単に触れてみたいと思います。

乗組員特別作業手当って何？

- ・「乗組員特別作業手当」は、読んで字のごとく乗組員が実施した特別作業に対する手当のことをいいます。
- ・会社によって、SWA (Special Work Allowance) といったり、EWA (Extra Work Allowance) といったりします。
- ・特別作業というくらいなので、通常の運航業務や保守業務には含まれない様な特別な作業が対象となります。
- ・対象となる作業や金額については、それぞれの会社で基準を設けているので、会社によって異なります。各社でタリフが定められております。

特別作業の内容は？

- ・特別作業手当は、用船者（オペレーター）マターのものと同船主（管理会社）マターのものがありますので、それぞれの代表的なものを紹介いたします。
- ・用船者（オペレーター）においては、①Hold cleaning (Sweeping/Sweeping & Washing) ②Intermediate Hatch Operation ③Dunnage/Material Collection ④Lashing/Unlashing ⑤Welding/Cutting (D-Ring) ⑥Master's Self-pilotage (Berthing/Unberthing, Passing Channel) 等々があります。
- ・船主（管理会社）においては、甲板部の場合、①各種クレーンワイヤー交換 ②Brake Lining交換 ③タンク掃除 ④Cargo block overhaul ⑤ハッチカバー各種ローラー交換 等、機関部の場合、①主機関開放整備（排気弁/Piston/Piston Crown/Cylinder Liner）②発電機開放整備 ③T/C開放整備 ④タンク掃除 ⑤パイプ作業（サイズや種類毎）⑥各機器清掃作業 等々があります。

誰が、どうやって支払うの？

- ・本船から会社へ実施した作業について手当の申請が提出されます。各社で申請書式が決まっています。
- ・用船者（オペレーター）においては、航海毎に発生し、予め決められたタリフ通りに申請されて、用船者が毎回その金額のCTM (Cash to Master) を手配し、現金で支給されます。
- ・船主（管理会社）においても、会社で定めたタリフに従って申請する事にはなりますが、作業が多岐に渡る為、タリフに記載されていないものも多くあり、それらもたくさん申請されるので、一件一件の内容を精査し、査定を行い、支払金額を決定します。もちろん特別作業と認定できないものは却下します。
- ・管理会社においては、通常、ある一定の額の船用金を常に船上に持たせているので、査定後に金額が確定したら、その船用金から現金で支払う様に指示をします。
- ・上記の通り、オペレーターも管理会社も都度現金で支払うのが一般的です。

以上、非常に簡単ではありましたが、「乗組員特別作業手当」について触れてみました。

前述の通り、この作業手当は、オペレーターや管理会社各社毎に決められており、その会社の方針や考え方により、その内容や金額も様々となっております。当社においても、World-Wideや近海船など航路や積荷も違い、また船齢が古くトラブルや修理作業が多い船など様々な為、統一した基準を作るのは難しい面もあり、その都度監督がその内容を精査して判断する事になります。あまり何でもかんでも出し過ぎでは良くありませんし、逆に削り過ぎてもやる気が無くなってしまいますので、あらゆる状況を考慮して判断しなくてはいけないので、監督さんも色々と気を遣いながら対応しています。

以上